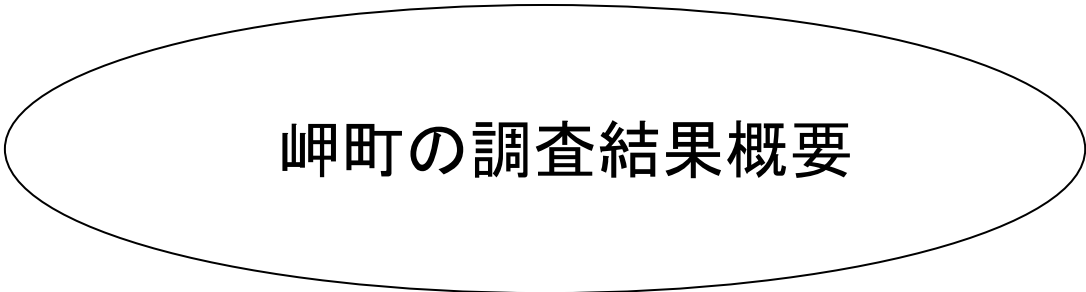


「平成 2 4 年度大阪府学力・学習状況調査」における



岬町の調査結果概要

平成 2 4 年 9 月

岬町教育委員会

大阪府学力・学習状況調査における本町の調査結果 平成24年9月

1. 調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することにより、大阪の児童生徒の課題の改善に向けた教育及び教育施策の成果と課題を検証し、府内全体の児童生徒の学力及び学習状況の改善を図る。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、児童生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を把握し、その改善を図る。
- (3) 各学校が、児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導の改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学校力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (4) 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査の名称及び実施日

『平成24年度大阪府学力・学習状況調査』 実施日：平成24年6月12日(火)

3. 調査の対象

小学校第6学年（158名）、 中学校第3学年（147名）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

小学校：国語A・算数A（主として「知識・技能」に関する問題）

国語B・算数B（主として「活用する力など」に関する問題）

中学校：国語A・数学A（主として「知識・技能」に関する問題）

国語B・数学B（主として「活用する力など」に関する問題）

英語

主として「知識・技能」に関する問題

- ◇身につけておかなければ後の学年に影響を及ぼす内容
- ◇実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など

主として「活用する力」に関する問題

- ◇知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ◇様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対するアンケート調査

- ◇学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

学校に対するアンケート調査

- ◇指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

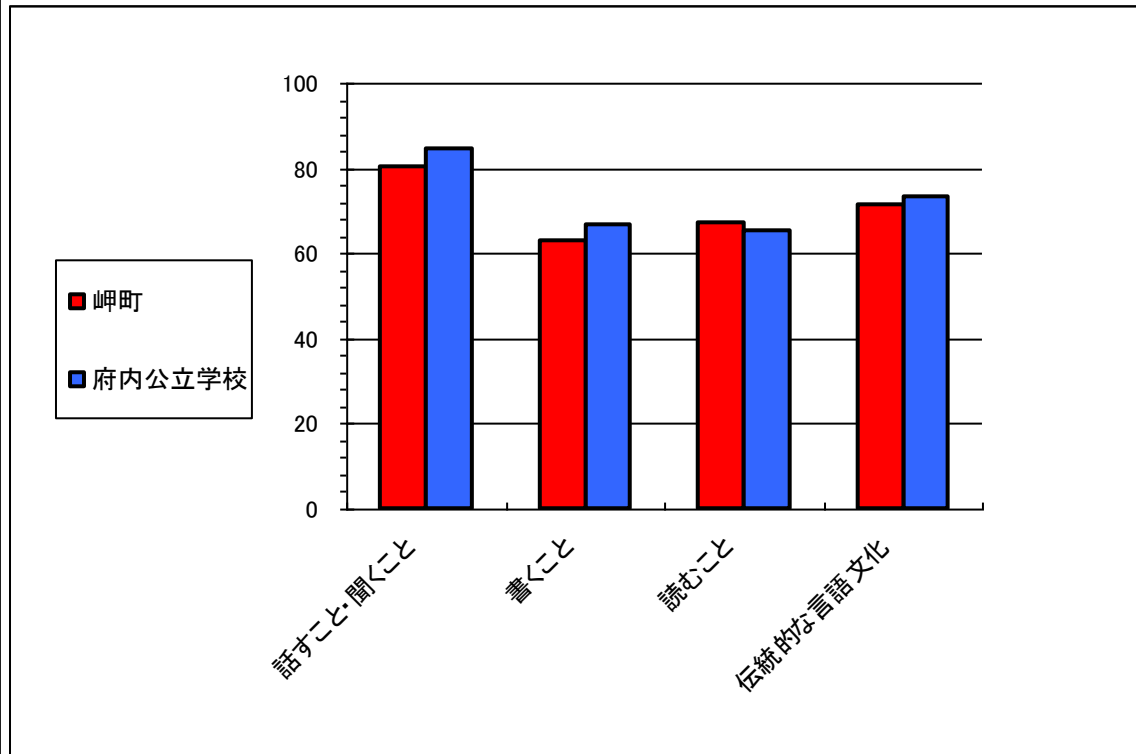
※ 本調査の結果は学力の特定の一部です。

※ 参加校数は小学校 624 校・中学校 299 校です。

小学校国語A

◇問題数等 国語Aの問題は、主として知識に関する問題で、全部で18問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



- 「話すこと・聞くこと」については良好であり、80%以上の正答率がある。
- 「伝統的な言語文化」については、概ね良好であり、70%以上の正答率がある。
- 「書くこと」「読むこと」についてはやや課題がある。

◇A区分問題にみえる課題等

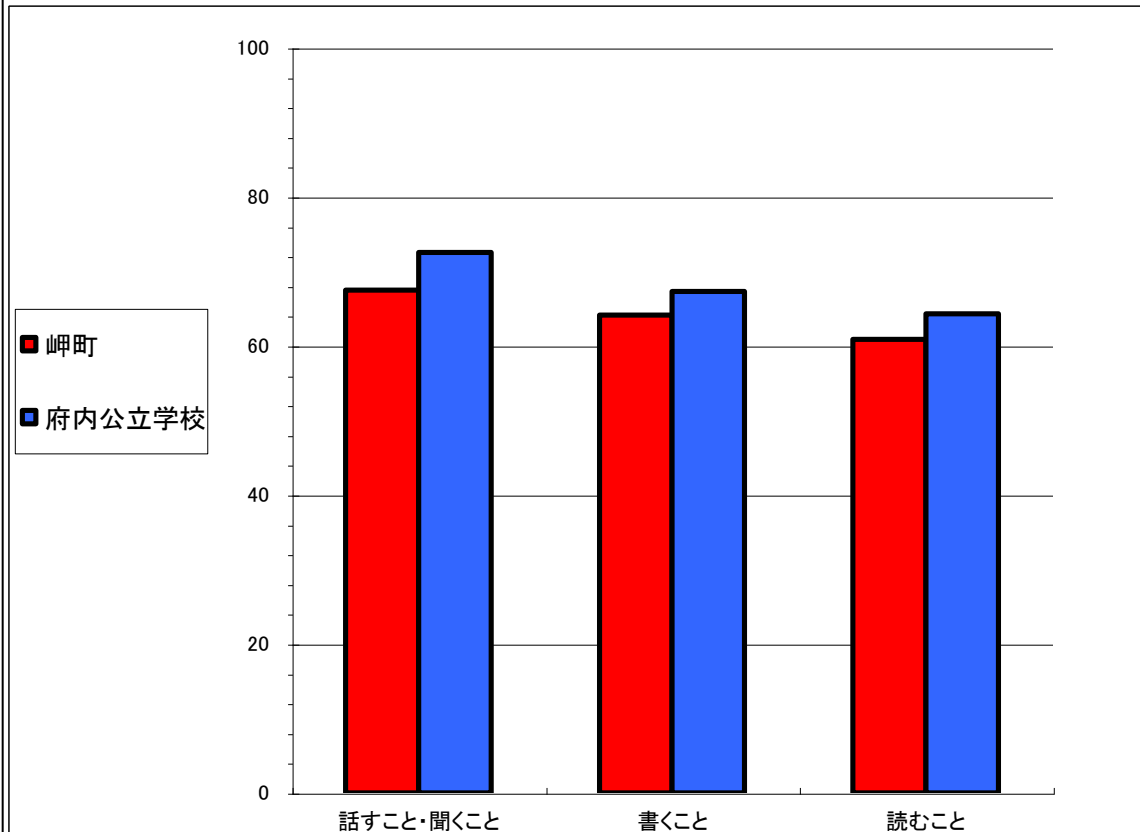
(◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題)

- ◎ 漢字を正しく「読む」「書く」ことについては比較的良好であり、平均して80%以上の正答率がある。
- 国語辞典を使用する場合で、言葉を『言い切り』の形にすることについて良好である。【例】『作戦をたてて』→『作戦をたてる』
- 全体の内容を把握し、どの部分がわかりやすく伝えるための手がかりになっているかをつかむことについて良好である。
- ローマ字で書くことについて、課題がある。
【例】『秋田』→『Akita』
- 文の構成や表現を確かめ、正しく推敲することについて課題がある。
【例】一文だけ「～ます。」となっている箇所を見つけ、他と同じになるよう、述語をそろえる。

小学校国語B

◇問題数等 国語Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で10問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



(「伝統的な言語文化」に関する出題なし)

- 「書くこと」「読むこと」についてやや課題がある。

◇B区分問題にみえる課題等

(◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題)

- 伝えたいことと資料とを関係付け、資料を効果的に提示することについて80%以上の正答率がある。

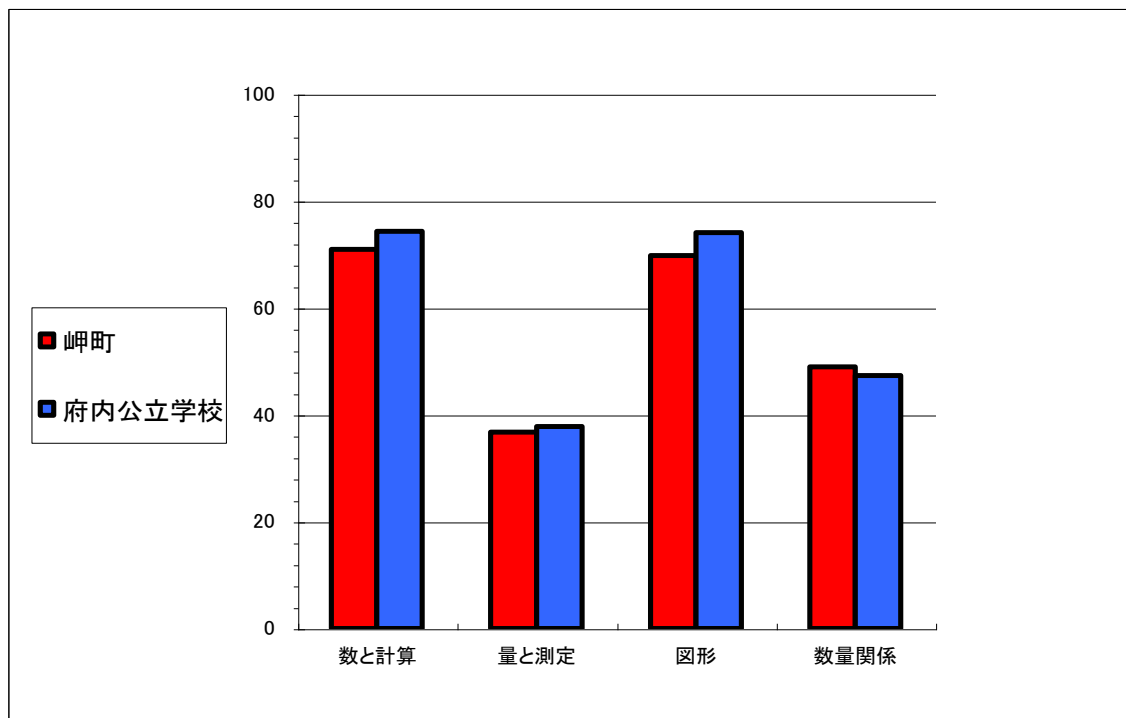
【例】3つの写真の中から新聞に入れる写真を選択し、その理由を説明する。

- 司会者として発言者の意見や提案を受け止め、話し合う内容を明らかにしようとしながら進行することについて良好である。
- 必要な情報を関連付けて読み、理由を明確にして説明することについて課題がある。
- 説明文の流れをとらえ、正しい場所に一文を追加することについて課題がある。
- 壁新聞の小見出しを、記事の内容に合わせて書くことについて課題がある。

小学校算数A

◇問題数等 算数Aの問題は、主として知識に関する問題で、全部で18問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



- 「数と計算」「図形」については概ね良好であり、約70%の正答率がある。
- 「量と測定」については40%以下の正答率であり、特に課題は大きい。

◇A区分問題にみえる課題等

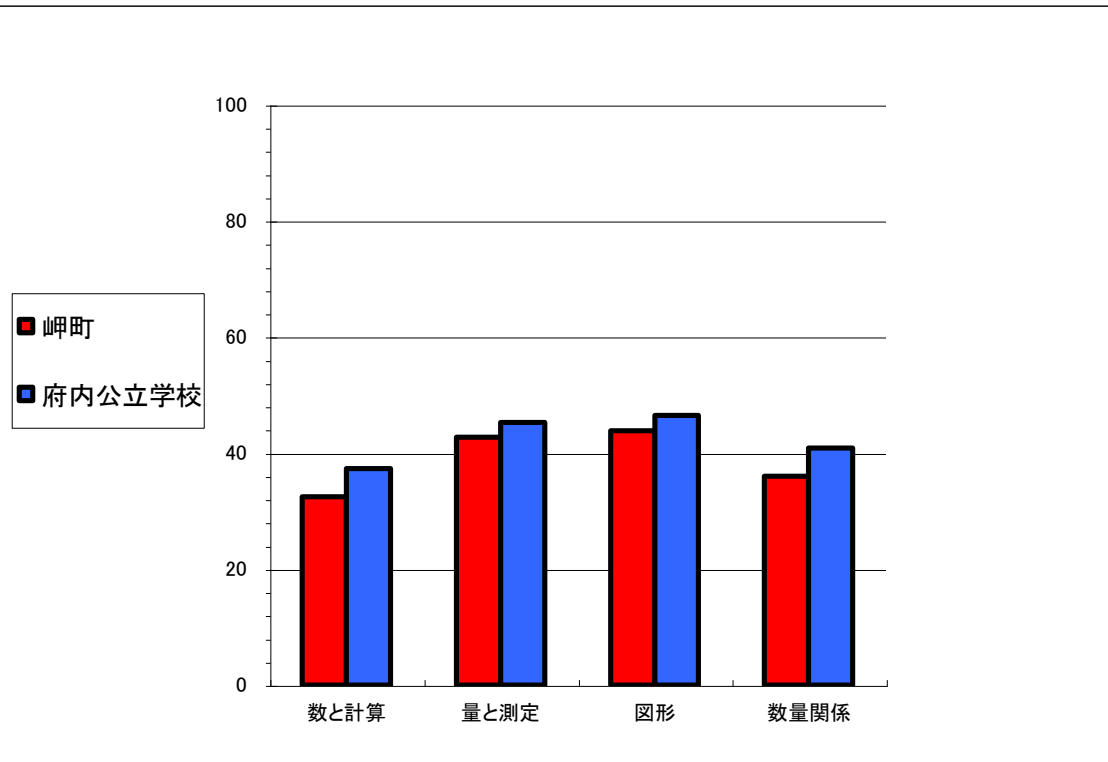
(◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題)

- ◎ 基礎・基本の乗法・除法の計算力については良好である。
【例】 4×2.8 、 $4/9 \div 2$
- 図形の合同や、直方体の構成を理解することについては良好である。
- ★ 位をそろえて計算したり、四則が混合した計算をしたりすることについては課題が見られる。【例】 $20 - 2.1$ 、 $20 - 10 \div 2$ 、 $350 - 137 + 150$
- ★ 円周率を理解することについて課題がある。
【例】円周率はどのようにすると求めることが出来るでしょう。(円周÷直径)
- ★ 割合の求め方を理解することについて課題がある。
【例】 $33,000 \text{ km}^2$ の6%を求める式を書きましょう。 $(33,000 \times 6/100)$
- ★ 単位量あたりの大きさについて理解することについて課題がある。
【例】面積 40 m^2 に8人いる公園と面積 24 m^2 に6人いる公園ではどちらが混んでいるでしょう。

小学校算数B

◇問題数等 算数Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で15問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



- 「数と計算」「数量関係」について40%以下の正答率であり、特に課題は大きい。

◇ B区分問題にみえる課題等

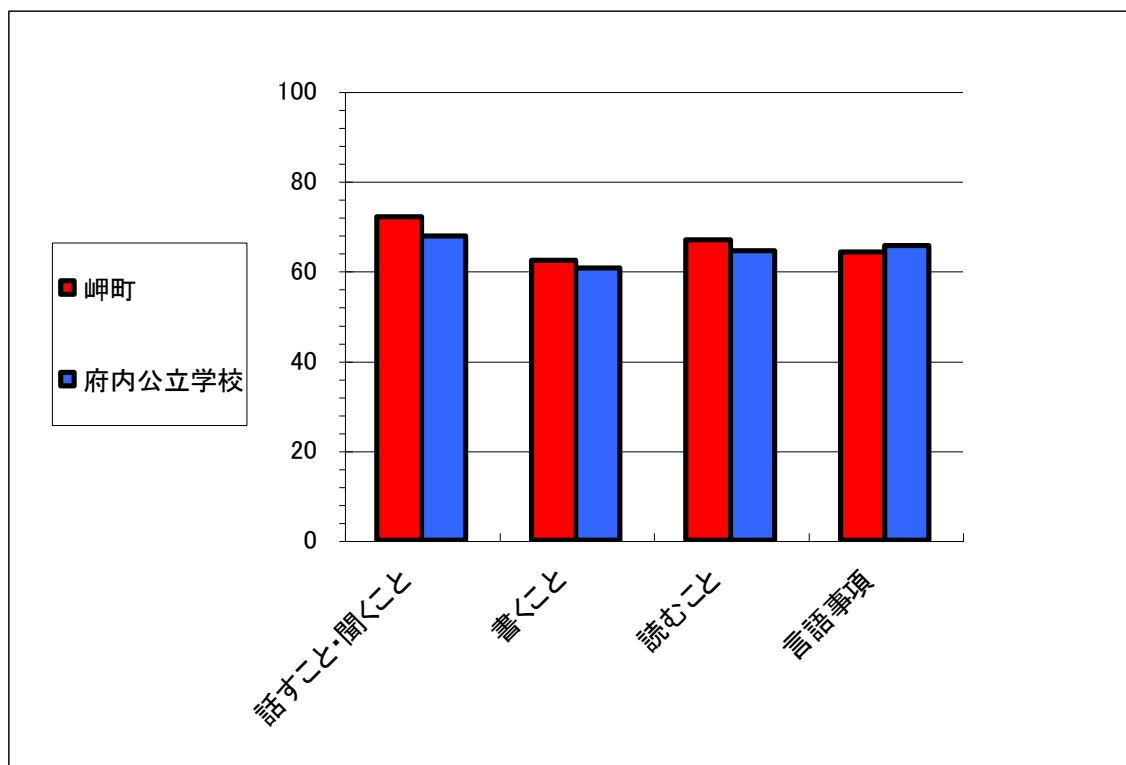
(◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題)

- 与えられた条件から棒グラフをかくことについて、比較的良好である。
- ★ 割合を用いた内容を理解し、条件の異なるものを比べることについて課題がある。
【例】鉛筆1本30円だが、10本セットで20%引きのA店と鉛筆が1本25円のB店では、25本買うのにどちらの店がいくら安いでしょう。
- ★ 棒グラフをみて総量の変化を割合の観点から説明することについて課題がある。
- 単位量あたりの大きさを理解し、図形の性質を用いて面積を求め、説明することについて課題がある。
- 直方体の辺の長さに着目し、最小公倍数を用いて立方体を構成することに課題がある。
【例】各辺が16cm、8cm、4cmの直方体があります。積み上げていき、一番小さな立方体を作るとき、その直方体は全部で何個必要ですか。

中学校国語A

◇問題数等 国語Aの問題は、主として知識に関する問題で、全部で33問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



- 「話すこと・聞くこと」については概ね良好であり、72%の正答率がある。
- 「書くこと」についてはやや課題がある。

◇A区分問題にみえる課題等

(◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題)

- ◎ 漢字を正しく「読む」「書く」ことについては比較的良好である。

(●ただし「書く」の『ソウイクフウ』→『創意工夫』を除く)

- ◎ 適切な副詞を選択することについては良好である。

- ★ 論理の展開の仕方をとらえて内容を理解することについては課題がある。

【例】ある文章が入る適切な部分を全体文の中から選択する。

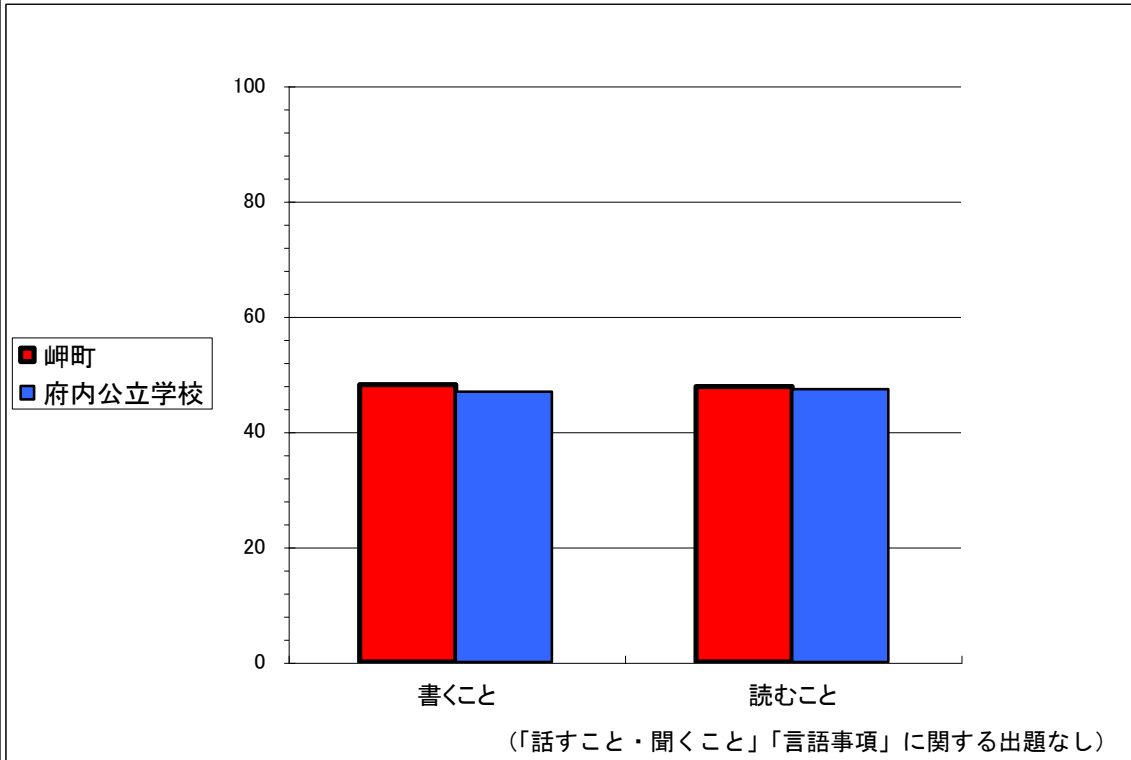
- 行書の基礎的な書き方を理解することについては課題がある。

【例】『筆順の変化』や『点画の連続』について正しく理解しているか。

中学校国語B

◇問題数等 国語Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で9問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



●「書くこと」「読むこと」については50%以下の正答率であり、課題は大きい。

◇B区分問題にみえる課題等

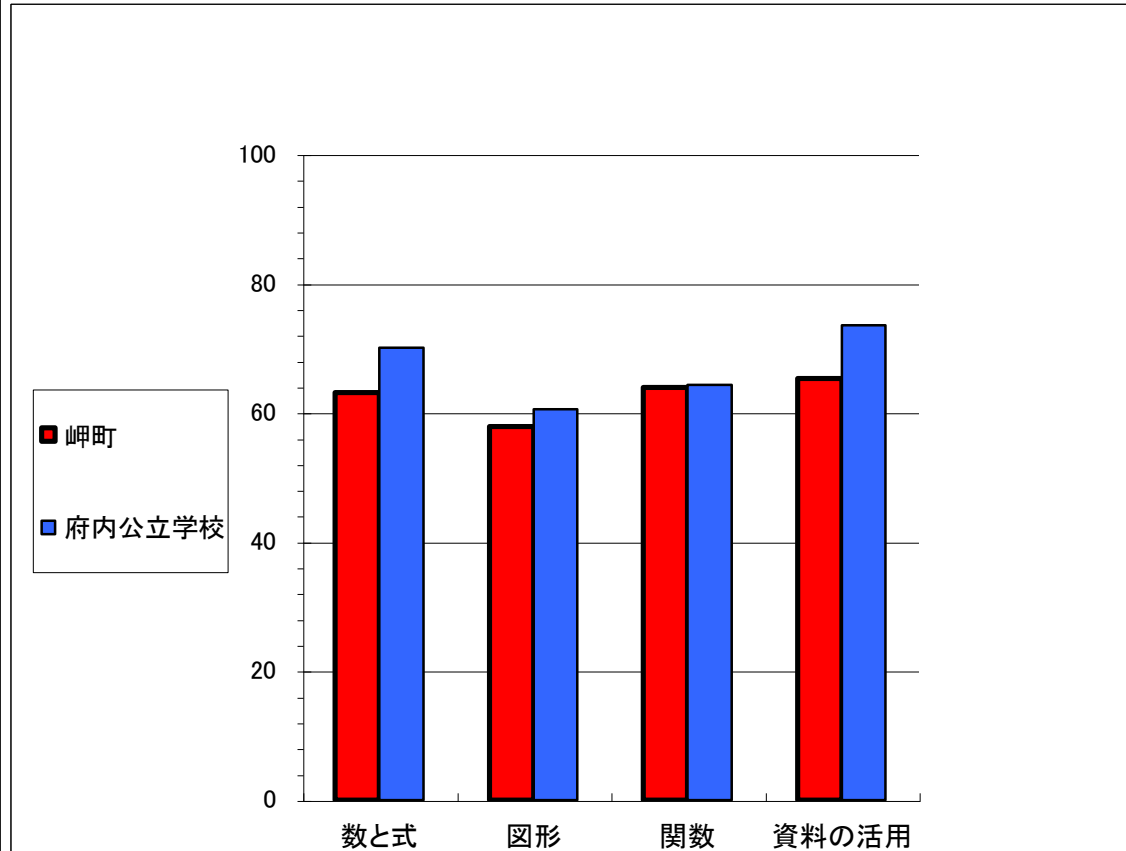
(◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題)

- ◎ 複数の資料から必要な情報を読み取ることについては比較的良好である。
【例】2つの資料を比べて、一方の資料の空欄に当てはまる語句を抜き出す。
- 会話の流れをとらえ、自分の考えを適切な形式で書くことについては比較的良好である。
- 文章の内容を目的の応じてとらえ、必要な言葉を抜き出すことについては課題がある。
- 文章の構成や展開について自分の考えを、根拠を明確にして書くことについては課題がある。
【例】文章に合う挿絵を選び、それを選んだ理由を条件に従って書く。

中学校数学A

◇問題数等 数学Aの問題は、主として知識に関する問題で、全部で31問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



●「図形」について課題がある。

◇ A区分問題にみえる課題等

(◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題)

◎ 比例の関係を理解することについて良好である。

【例】 x の値が2倍3倍…になると、 y の値は2倍3倍…になる。

○ 単項式の除法の計算（累乗の数含む）について良好である。

【例】 $-6x^2y \div 2xy$

● 3点から等距離にある点を作図する方法を理解することについては課題がある。

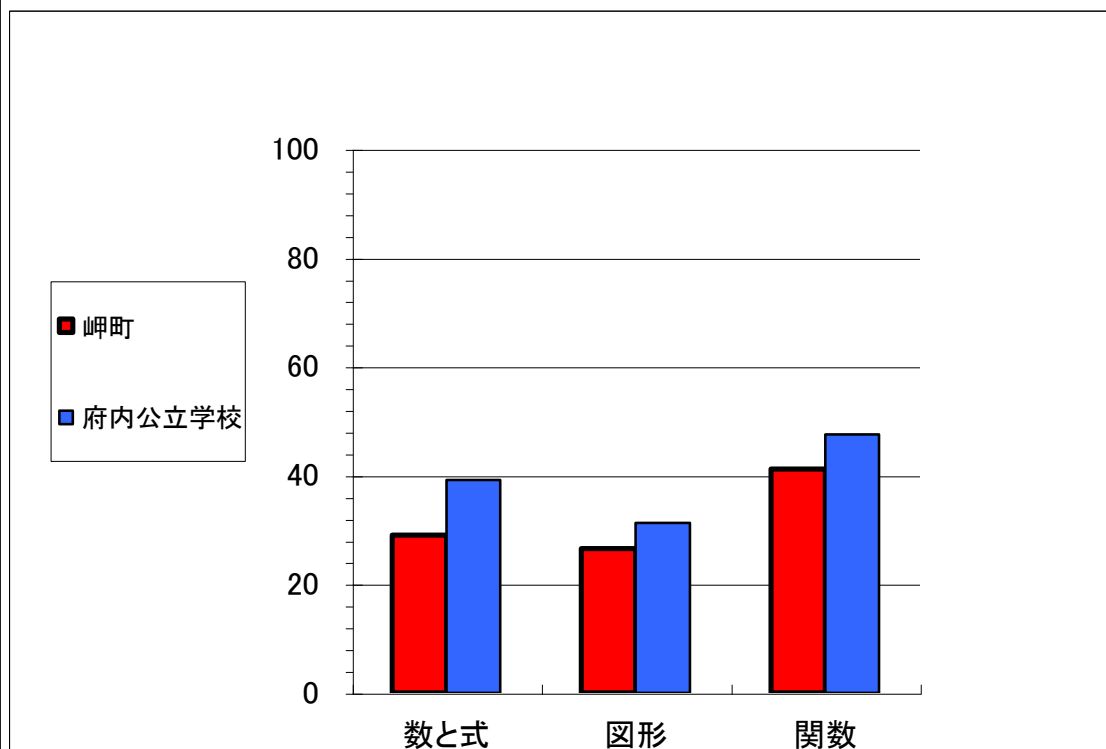
● 平行四辺形を長方形に、またひし形を正方形にする共通条件を理解することについては課題がある。

【例】平行四辺形→長方形、ひし形→正方形（一つの角度を直角にする）

中学校数学B

◇問題数等 数学Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で14問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別 (「資料の活用」に関する出題なし)



- 「数と式」「図形」については40%以下の正答率であり、特に課題は大きい。

◇B区分問題にみえる課題等

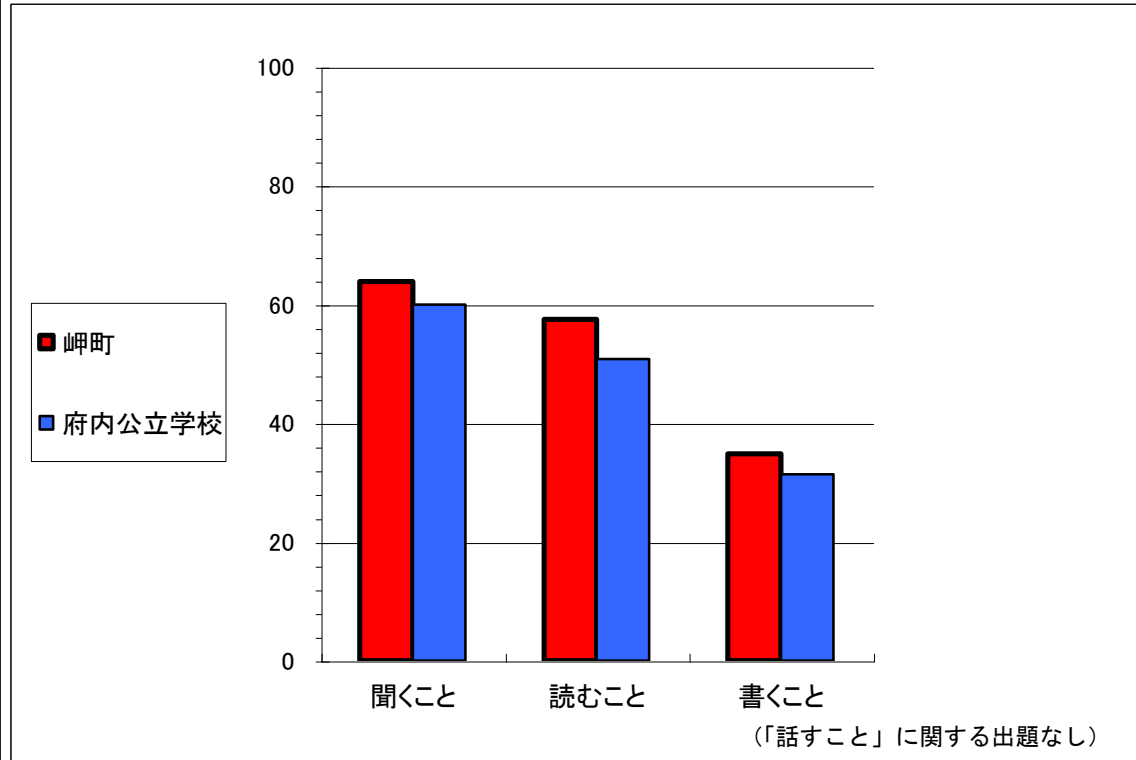
(◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題)

- ◎ グラフから必要な情報を読み取ることについては比較的良好である。
- 連続する3つの偶数の和が、2の倍数になることを説明することについて課題がある。(無回答率40.1%)
- 天びんの仕組みや性質を理解し、表から必要な情報を読み取り処理することに課題がある。
【例】『重さ』は、『支点からの距離』に 。（反比例している）
- 事象を数学的に解釈し、結果にいたる過程を数学的に表現することについて課題がある。(無回答率42.9%)
【例】テニスボールがぴったり収まる立方体と円柱の表面積を比較して、大小を判断し、その考え方を書く。

中学校英語

◇問題数等 英語の問題は、全部で30問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



○「聞くこと」については概ね良好である。

●「書くこと」については40%以下の正答率であり、特に課題は大きい。

◇問題にみえる課題等

(◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題)

◎ 具体的な内容や大切な部分を聞き取ることについては良好である。

【例】(A)What do you usually do after school?

(B)I walk with my dog.

→What dose the boy usually do after school? (with my dog.)

○ 文法、語法を理解し、適切な動詞の形を選択することについては良好である。

【例】We listening to music yesterday. (were)

● 文脈に即した単語を使うことについて、課題がある。

【例】It very old, but it is very beautiful. (looks)

★ 適切な疑問詞を用いて疑問文を作成することについては課題がある。

【例】毎日何時間、練習しますか？

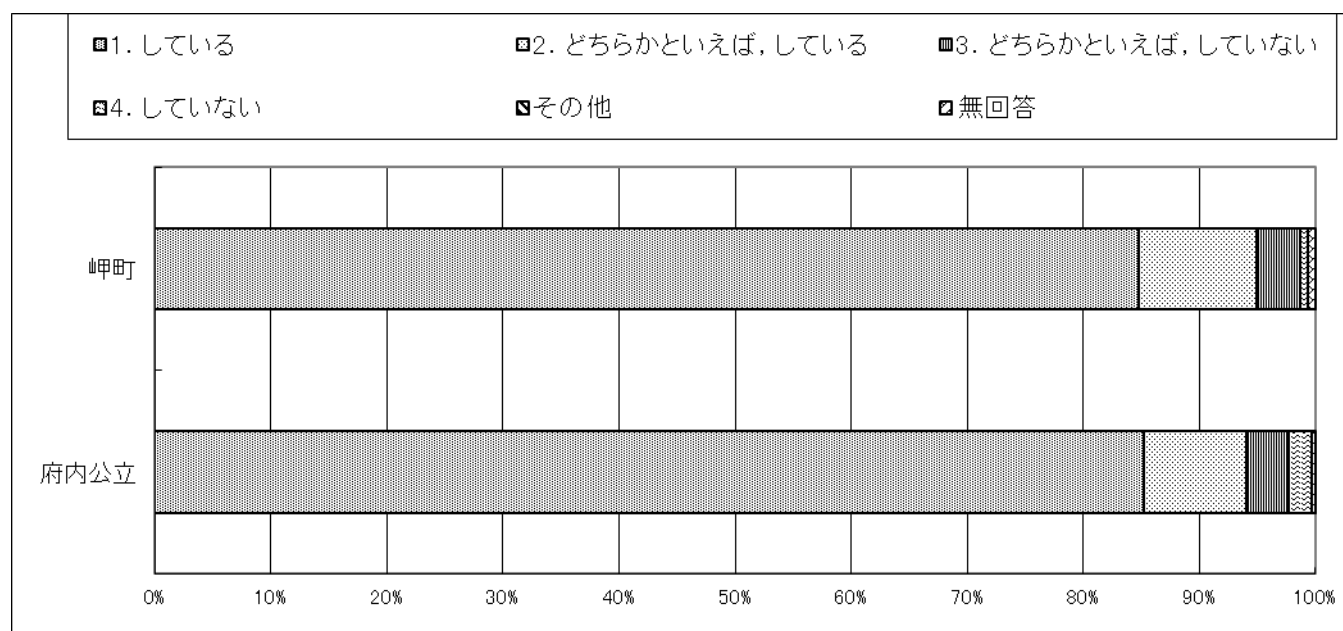
→ practice every day?(How many hours do you)

岬町の子どもたちの生活の様子

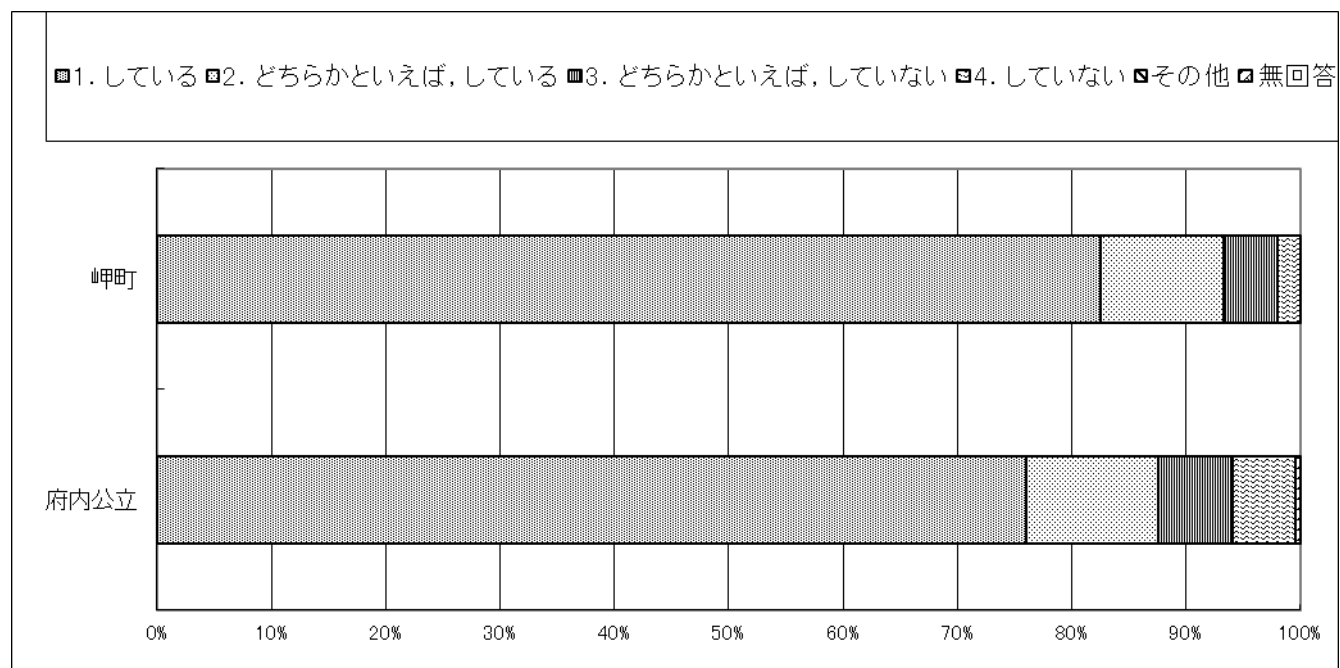
(小学校・中学校)

—児童・生徒質問紙より—

1, 朝ごはんを毎日食べていますか（小学校）



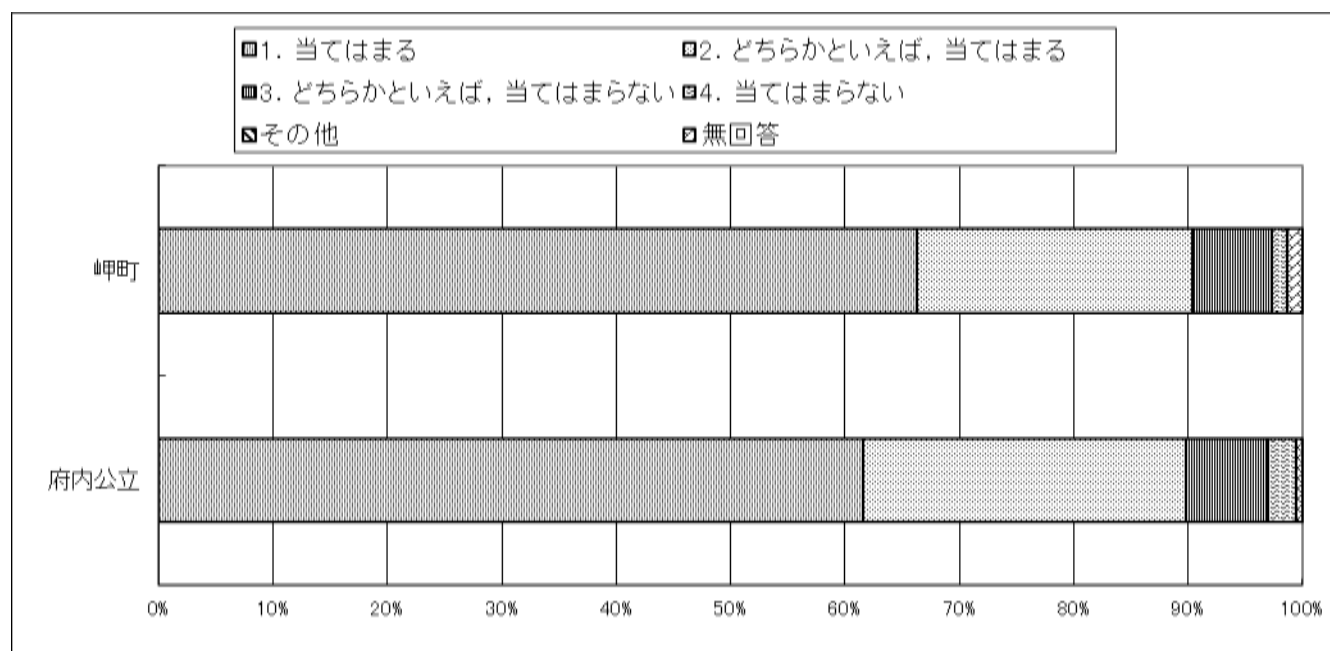
1, 朝ごはんを毎日食べていますか（中学校）



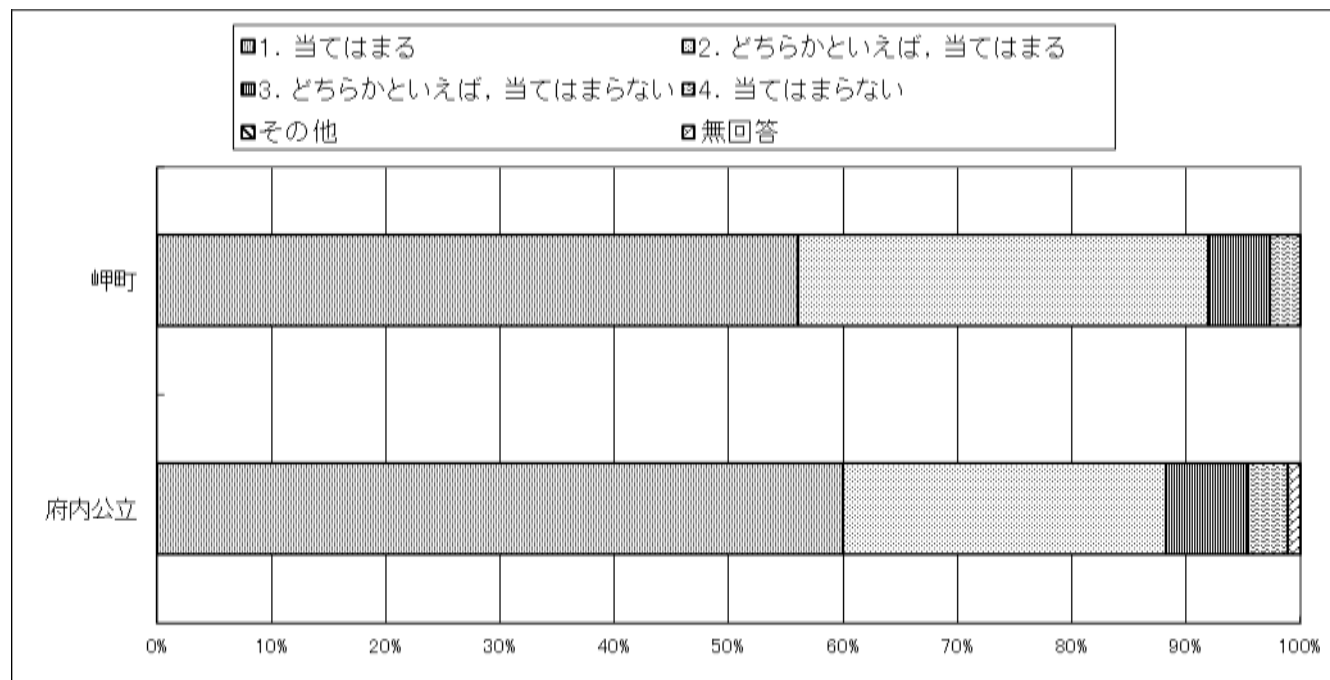
◎「している」「どちらかといえばしている」割合は、小中学校ともに90%を超えている。

●「していない」「どちらかといえばしていない」の児童・生徒について、状況を把握し家庭に対して丁寧な働きかけを続けていく必要がある。

2, 近所の人に合ったとき、あいさつをしている（小学校）

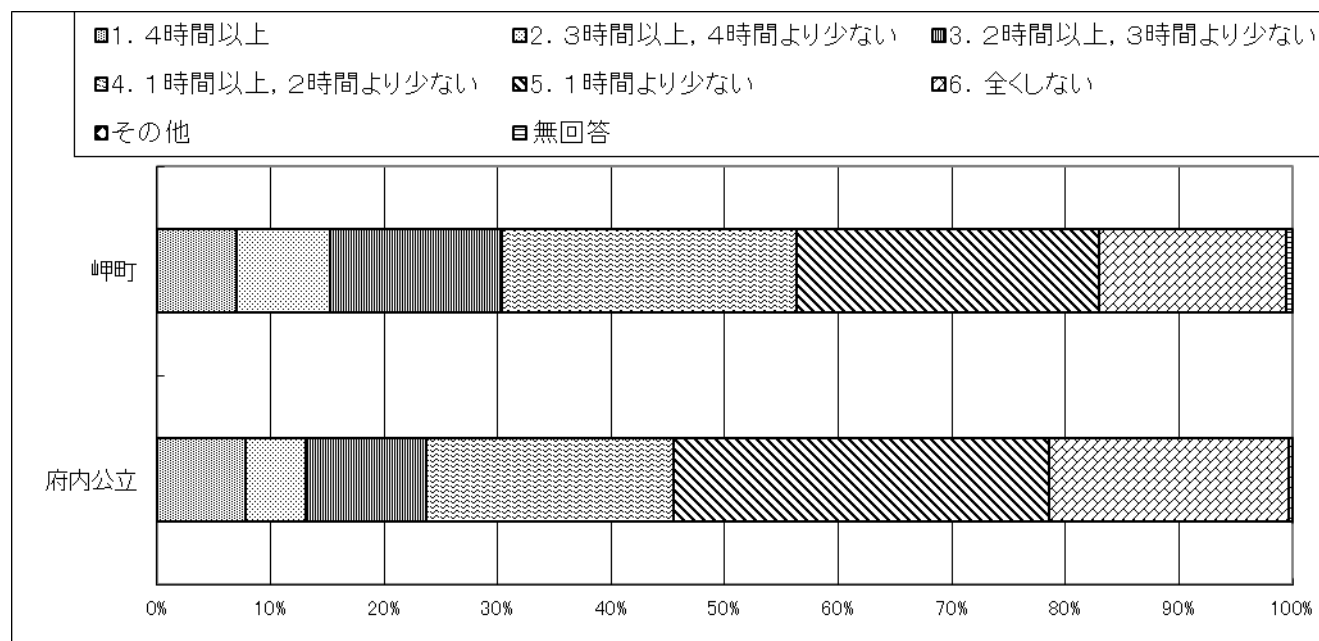


2, 近所の人に合ったとき、あいさつをしている（中学校）

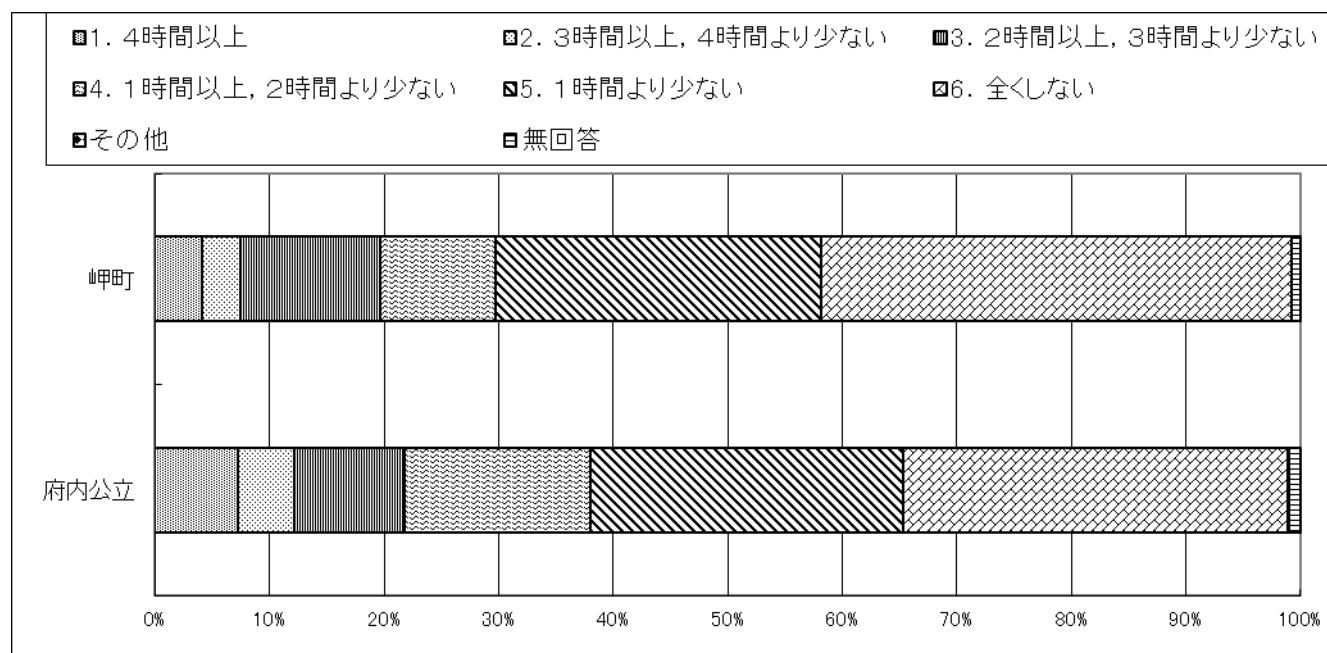


◎「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」割合は、小中学校ともに90%を超えている。
○中学校では、小学校と比較してもあいさつをする割合が増えており、今後も小中学校連携して取組みを進めていく。

3， ふだん1日どれくらいの時間テレビゲームをしますか（小学校）



3， ふだん1日どれくらいの時間テレビゲームをしますか（中学校）

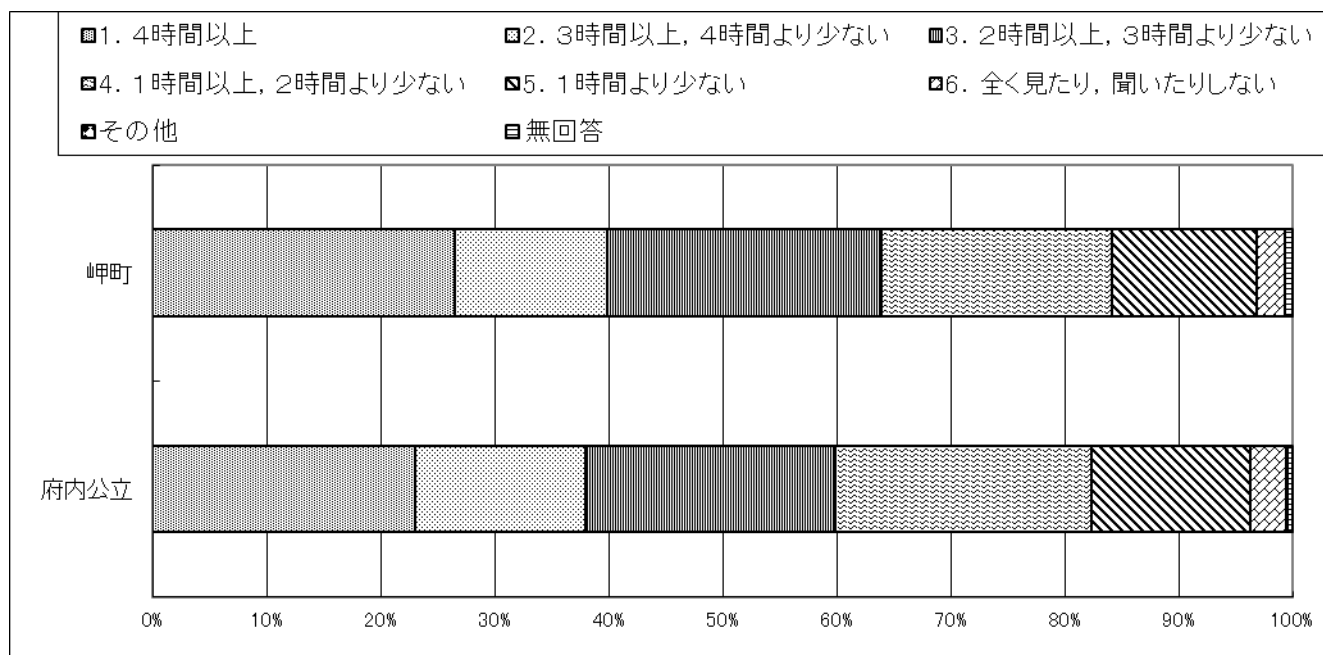


○前年度と比べて、2時間以上ゲームをしている割合は、中学校では19.7%となり12ポイント低下している。

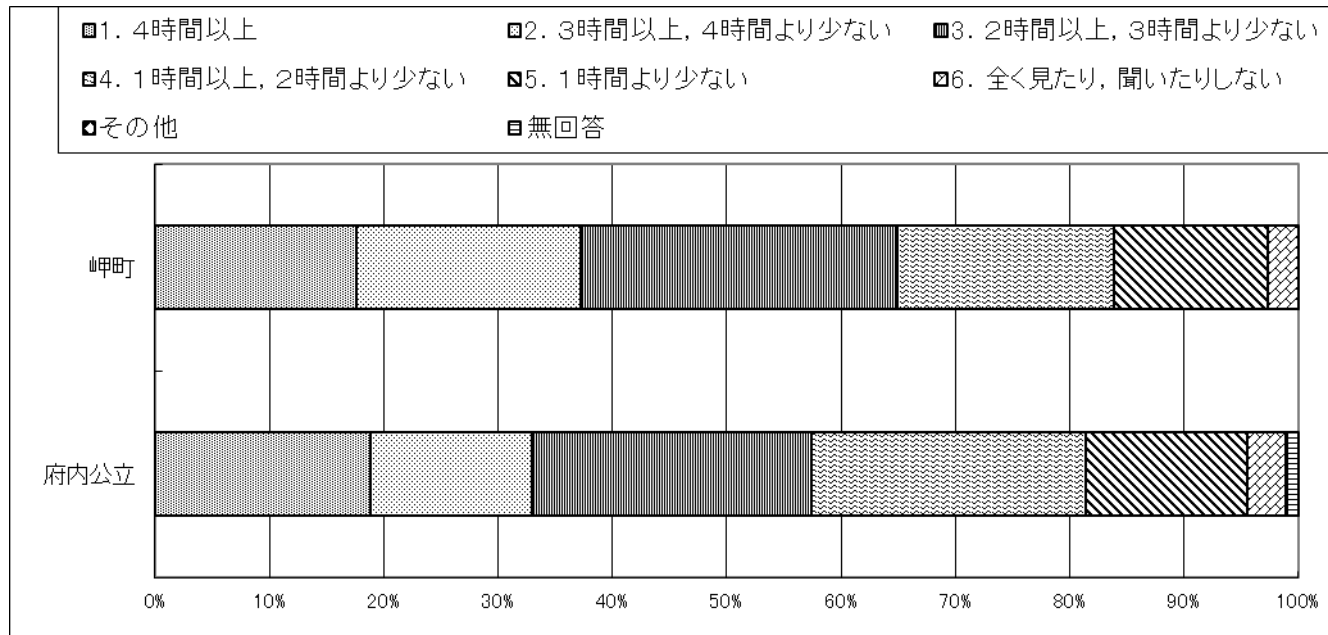
○中学校の全くしない割合は、41.2%であり、ゲームに依存している子どもは少ない。

●小学校のテレビゲームの使用時間は、前年度と比べて増加傾向にある。

4、ふだん1日どれくらいの時間テレビ・DVD等を見聞きしますか（小学校）

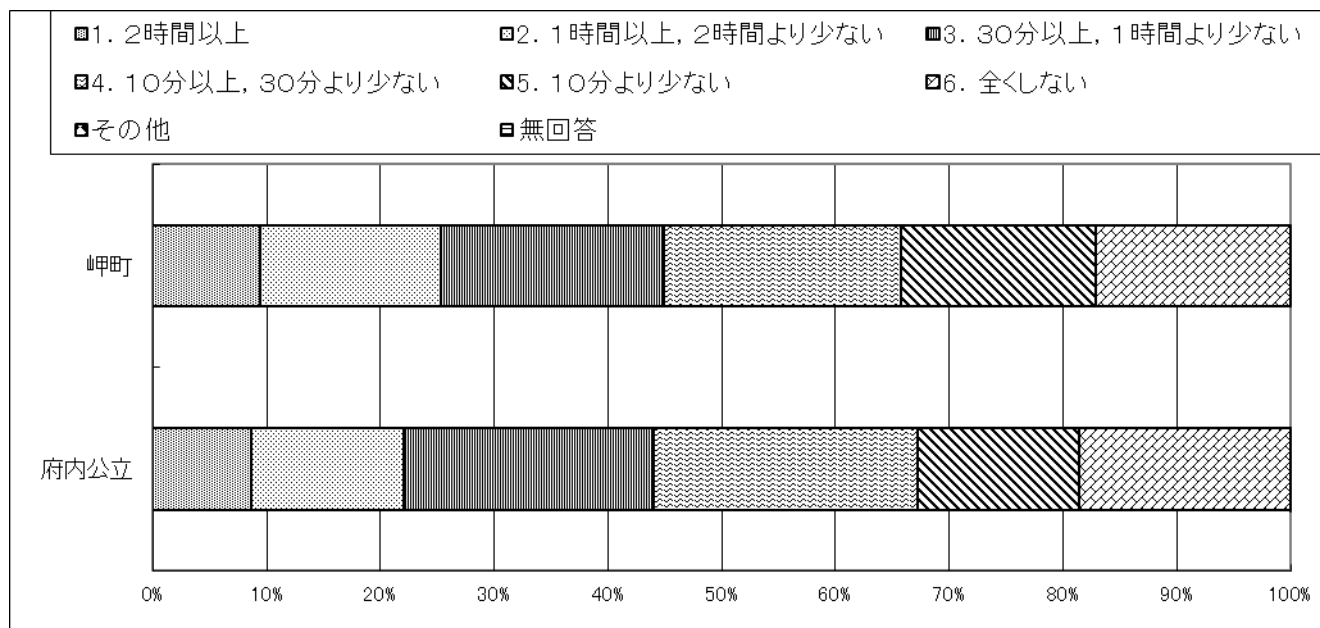


4、ふだん1日どれくらいの時間テレビ・DVD等を見聞きしますか（中学校）

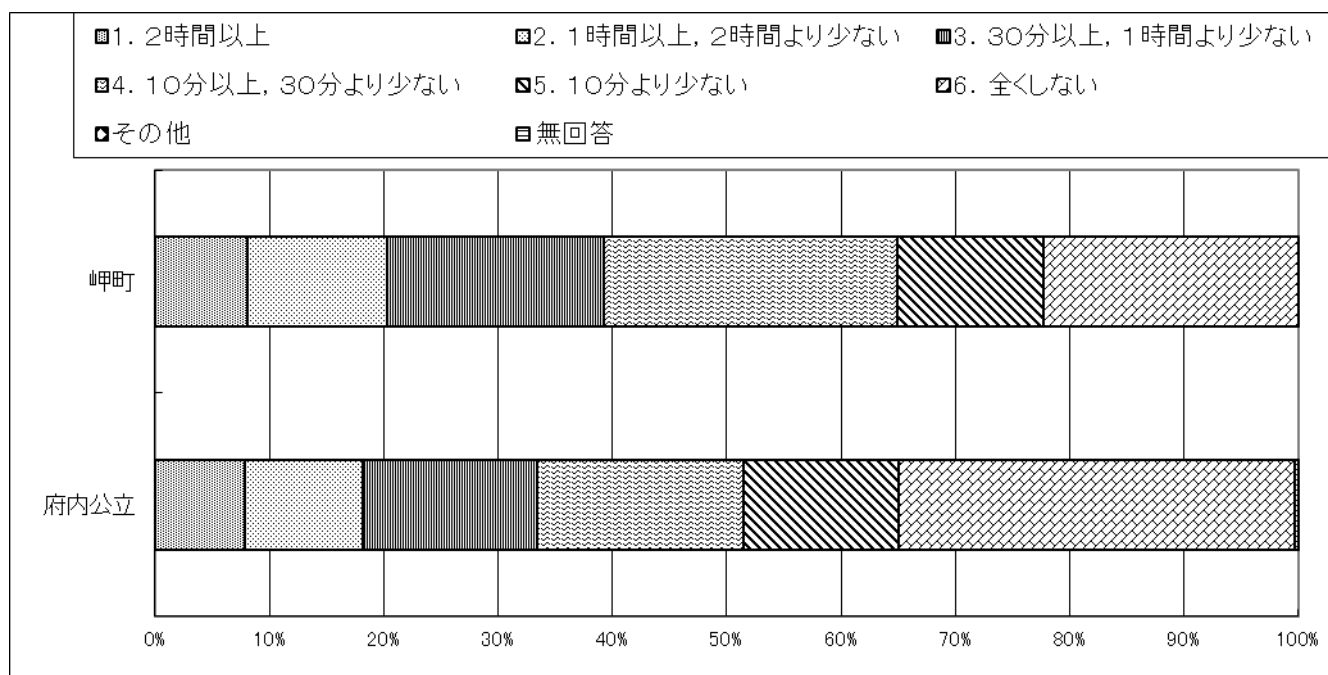


○前年度と比較して、2時間以上見たり聞いたりしている割合は、小中学校とも低下している。
 ●小中学校ともに全体的に視聴時間は短くなっているが、まだまだ2時間以上視聴している割合は60%を超え、テレビやDVDに依存している傾向がある。

5, ふだん1日あたりどのくらい家や図書館で読書をしますか（小学校）



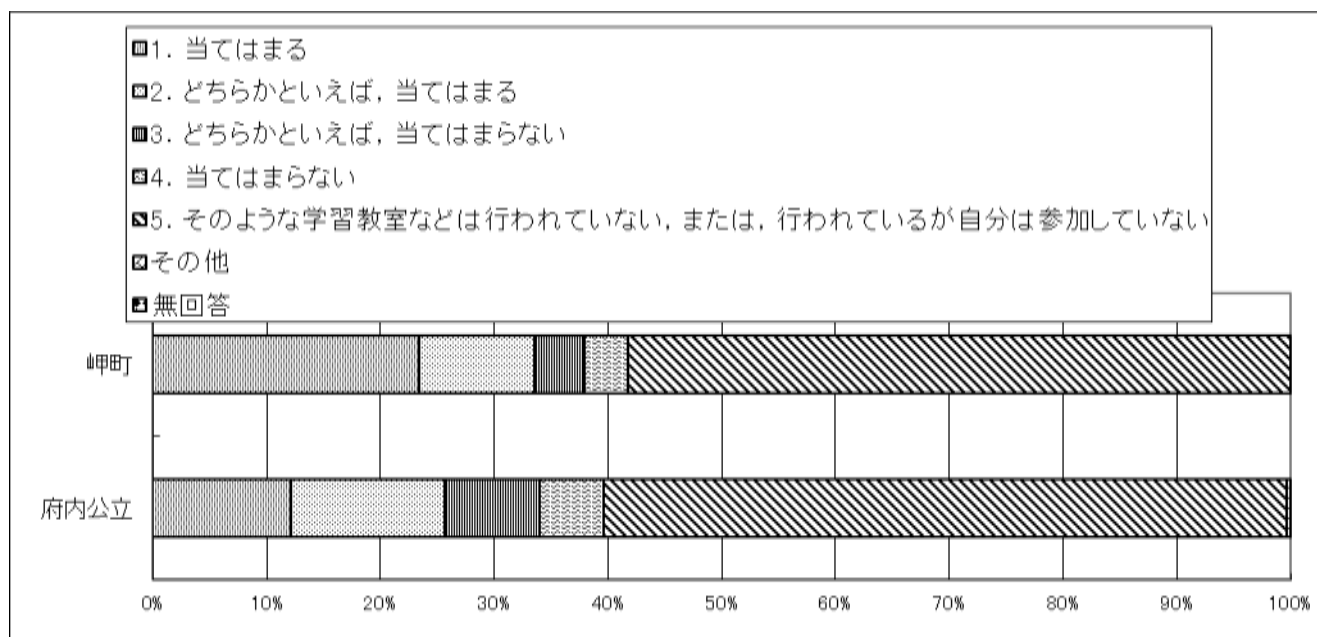
5, ふだん1日あたりどのくらい家や図書館で読書をしますか（中学校）



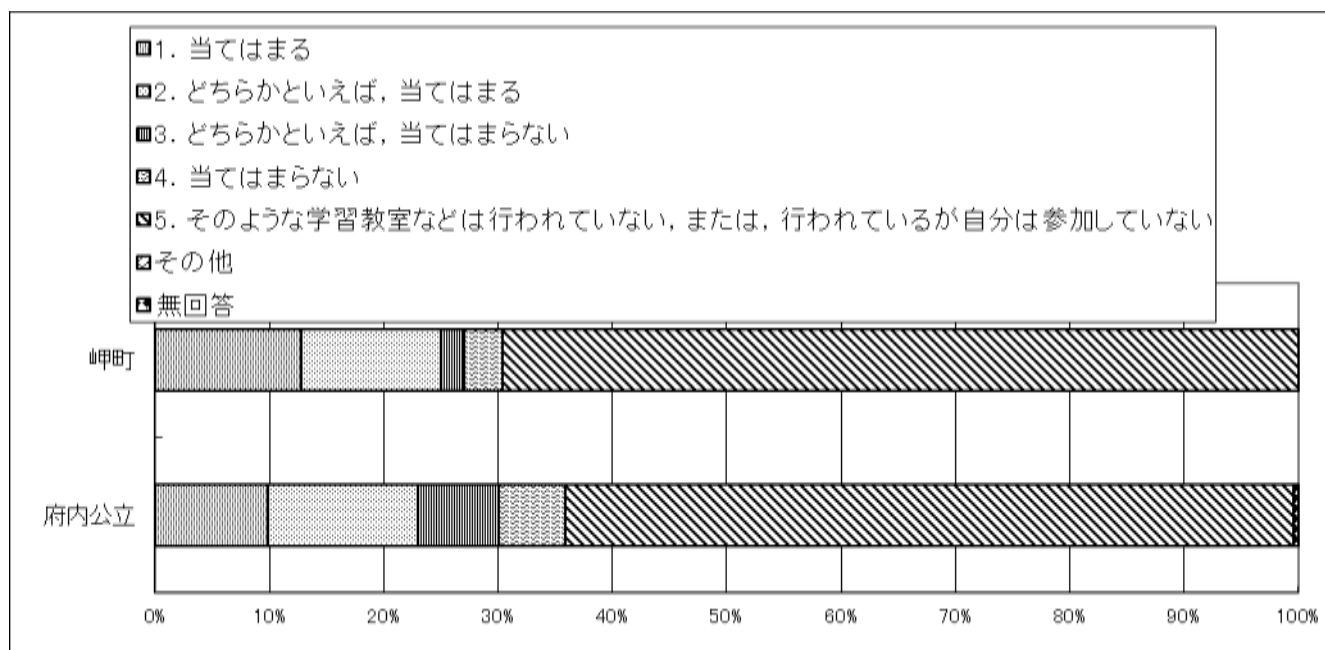
○小中学校において、1日のうち、少しでも本に触れる機会を持っている子どもの割合は、約80%であり、昨年と同様に高い。

●小中学校ともに、じっくり1時間以上、本を読む子どもの育成を進めていく必要がある。

6, 学校で実施している放課後学習や休みの日の学習教室などは勉強に役立った（小学校）



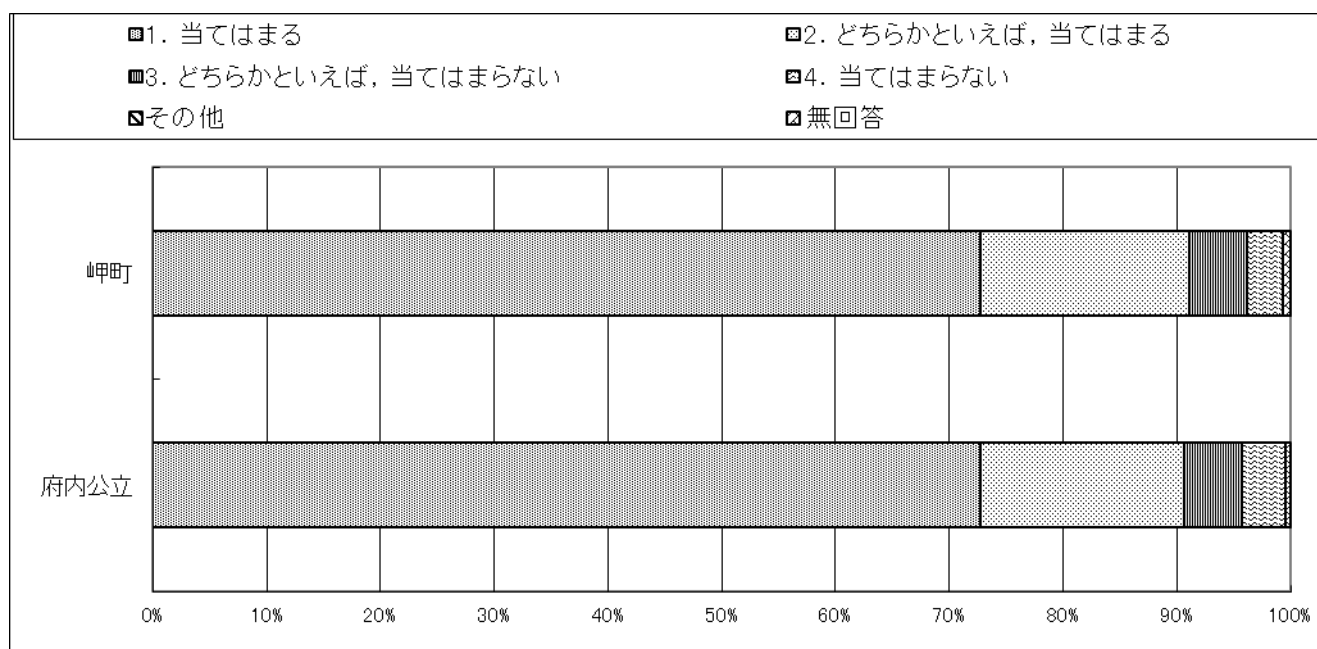
6, 学校で実施している放課後学習や休みの日の学習教室などは勉強に役立った（中学校）



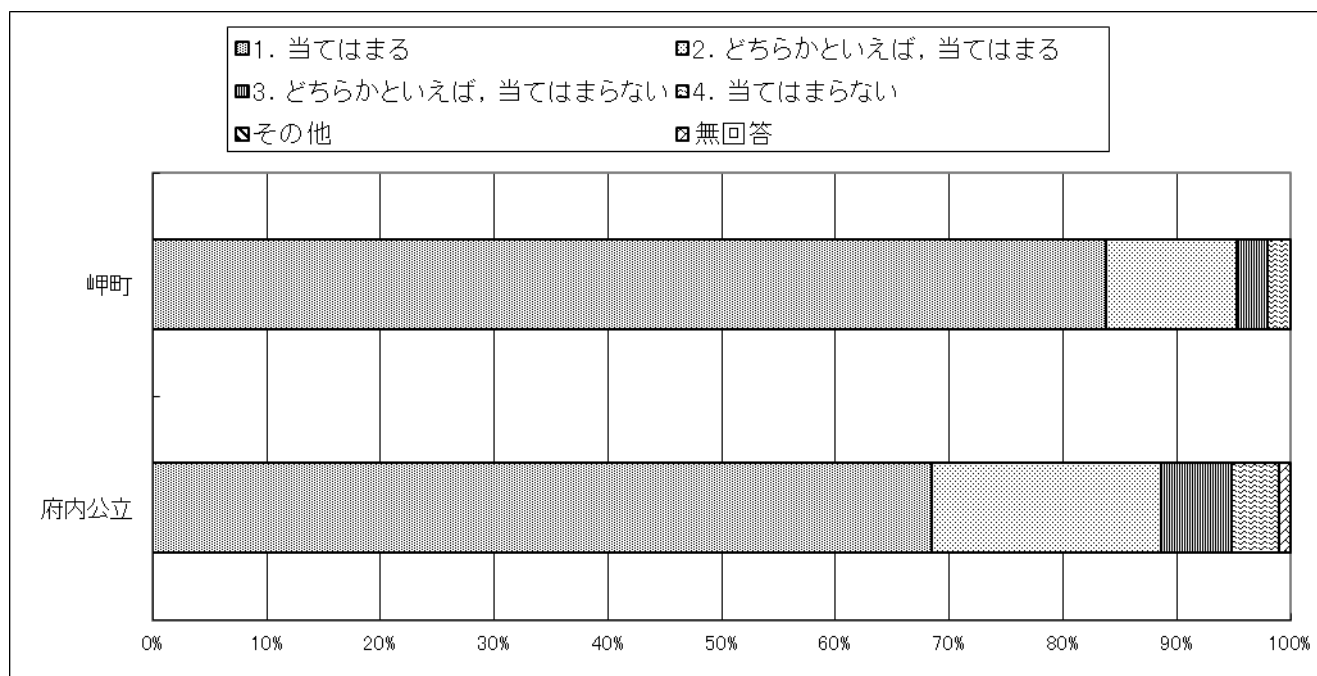
○小中学校ともに、参加した子どものうち、肯定的にとらえている割合は80%を超えて高く、各校における放課後学習の成果が見られる。

●小中学校ともに、参加していない子どもの割合は高く、これらの子どもの参加を促すことで、必要な学習習慣などの確立につながると考えられる。

7, いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う（小学校）



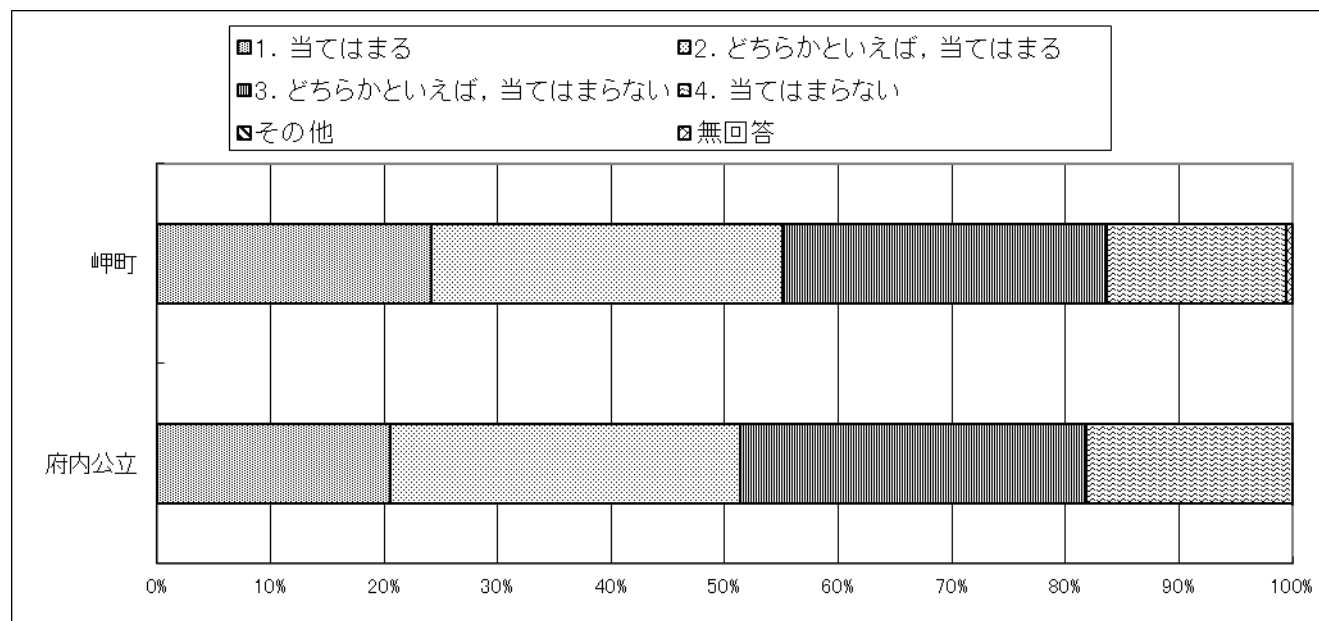
7, いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う（中学校）



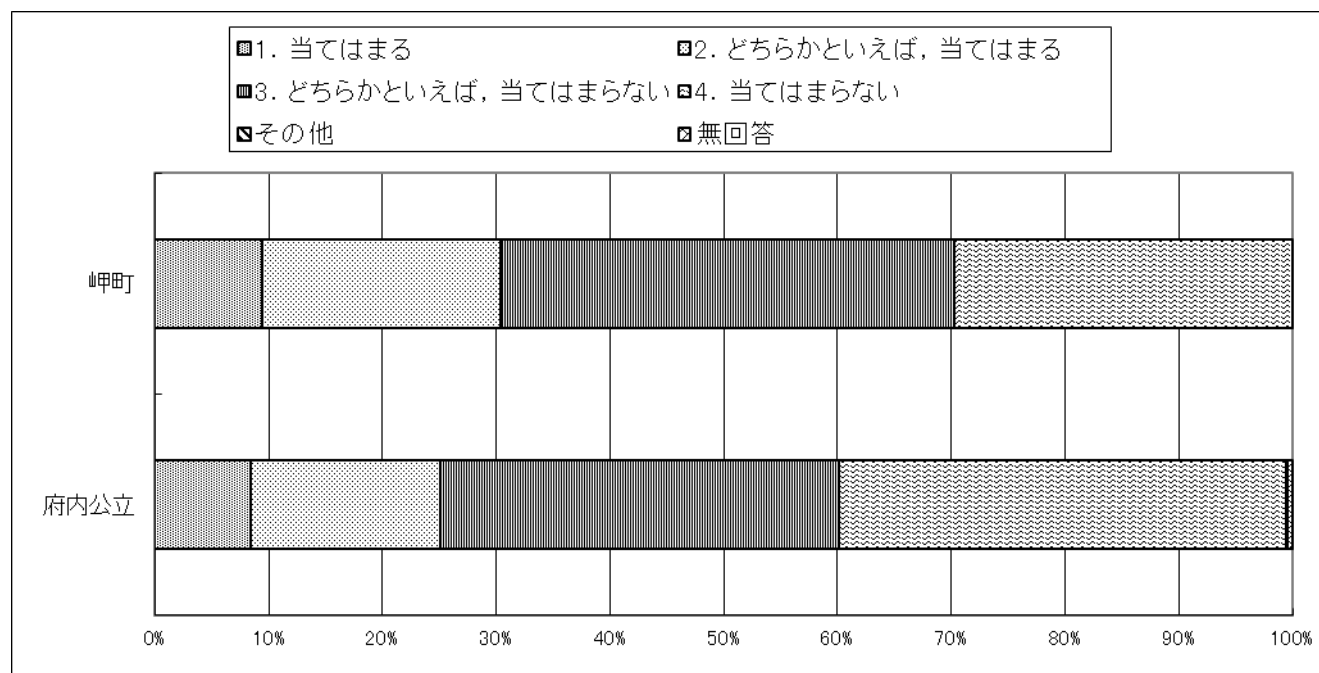
○「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」割合は、小学校では91.2%であり、中学校では約95.3%であり、各校における人権教育の取組みの成果が見られる。

○中学校では「当てはまる」割合が、小学校からみて伸びており、今後も小中連携をおこないながら、いじめ問題を含む人権感覚の育成を進めていく必要がある。

8, 算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える（小学校）



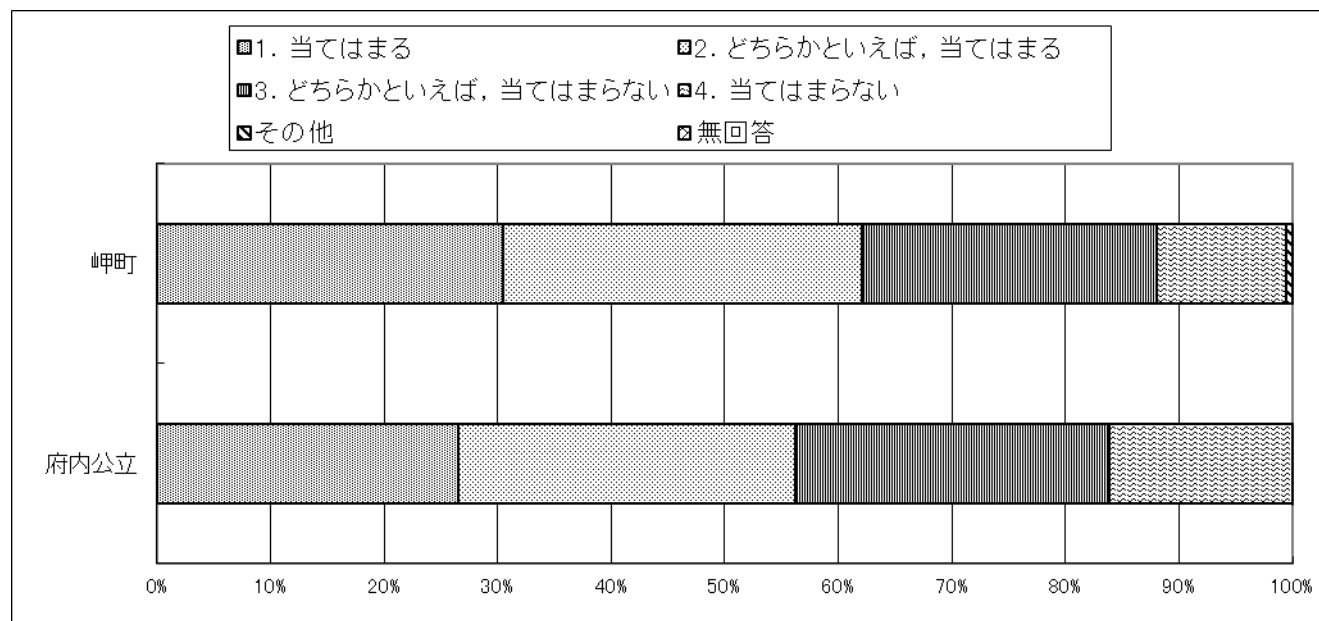
8, 数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える（中学校）



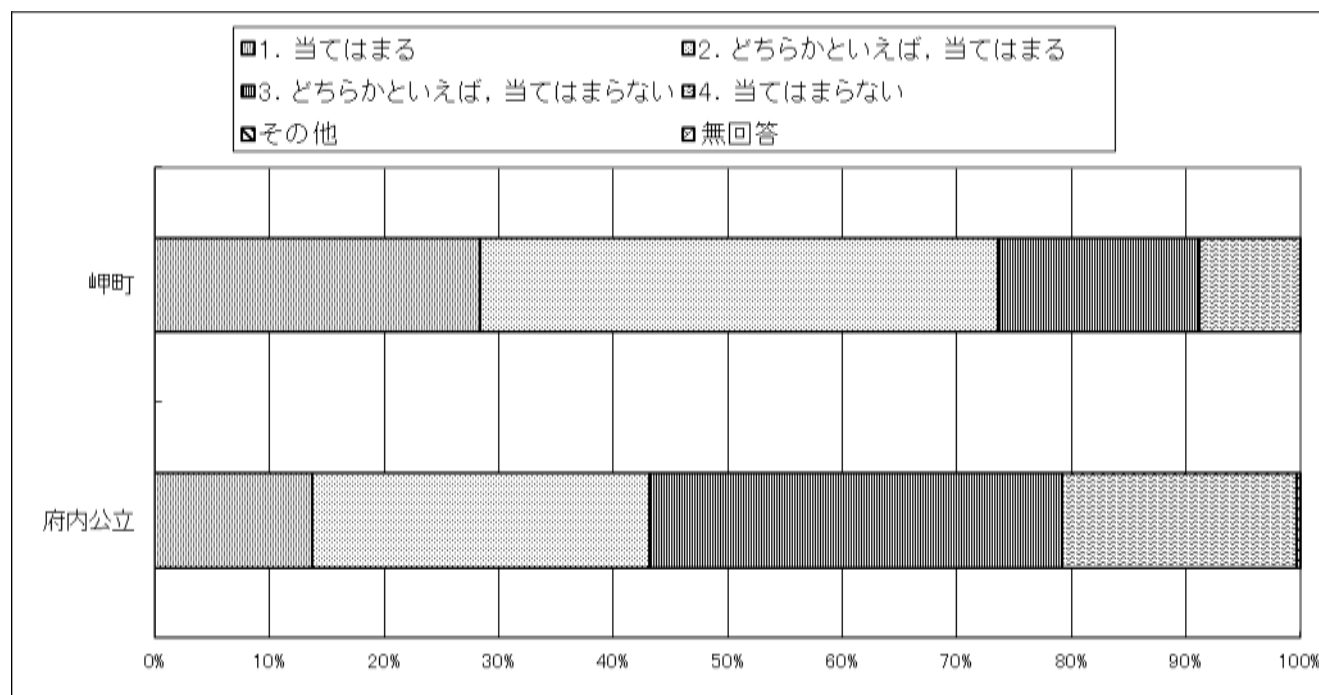
○昨年度同様に、小学校においては「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」割合が50%を超えており、指導方法の工夫が引き続きおこなわれている成果が表れている。

●昨年度と比べて、中学校においては、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」割合が6.6ポイント低下しており、今後、指導方法も含めて検討していく必要がある。

9. 普段の授業では、自分の考えを発表する機会がよくある（小学校）



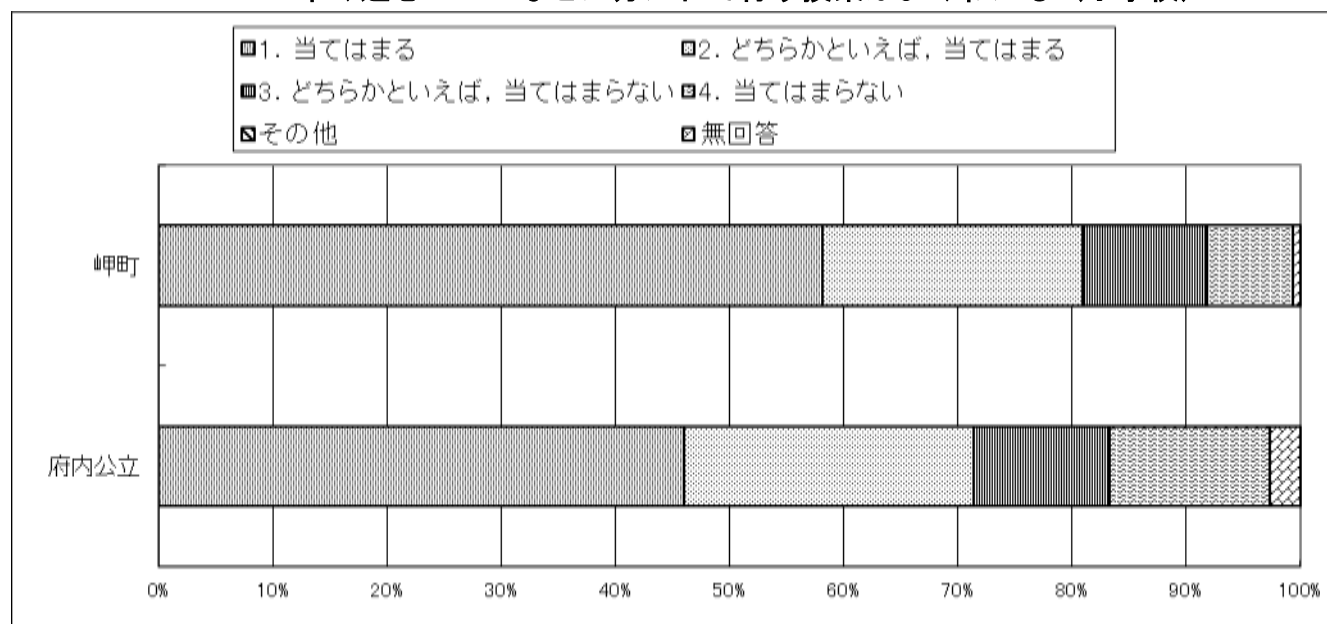
9. 普段の授業では、自分の考えを発表する機会がよくある（中学校）



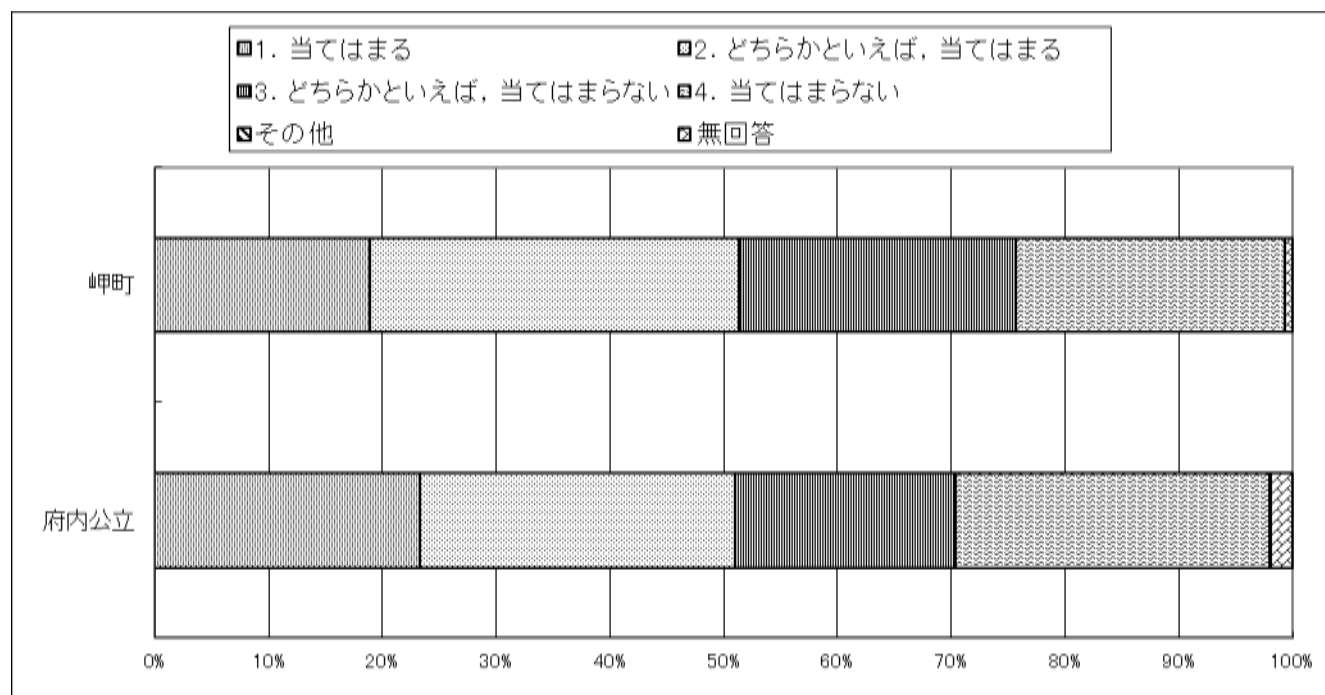
○小学校において「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」割合が62%であり、昨年度と比べて、9.2ポイント増加しており、各校での授業改善が進んでいる。

○中学校において「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」割合が73.7%であり、中学校において子どもたちの意見表明をおこなう機会が保障されている。

10, 勉強のわからないところを、ゆっくり丁寧に学習するコースや、早く進むコースなどに分かれて行う授業はよくわかる（小学校）



10, 勉強のわからないところを、ゆっくり丁寧に学習するコースや、早く進むコースなどに分かれて行う授業はよくわかる（中学校）



○小学校において「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」割合が81%であり、昨年度と同様にとても高く、各校での少人数・習熟度別指導の成果が見られる。

○中学校において「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」割合が51.3%であり、昨年度と比べて20.9ポイント増加し、中学校での少人数・習熟度別指導の成果が見られる。